

平成22年9月 2日

学生・教職員各位

国立大学法人茨城大学
新型インフルエンザ対策本部長
池田 幸雄

新型インフルエンザ発症者の発生と今後の対応について(第1報)

新型インフルエンザは、全国的に鎮静化し、発症者の少ない状況が続いていますが、本日、茨城大学において複数(学生)の新型インフルエンザ(H1N1)発症者が確認されましたのでお知らせします。

本学では、所轄保健所と連携し感染拡大防止に努めています。本学学生及び教職員は、引き続き手洗い、うがい、咳エチケットなどの日常の感染予防措置を励行してください。

記

1. 新型インフルエンザ(H1N1)感染予防措置

本学で発症者が発生したため、以下の感染予防措置を励行してください。

- 1) 体の抵抗力を高めるため、十分な休養を取り日頃から栄養の補給に心がけましょう。
- 2) 感染を予防するために、こまめな手洗いとうがい、人込みを避ける等を心がけてください。
- 3) 発熱や咳・のどの痛み等の呼吸器症状があるときは、無理な出席・出勤はやめて、身近な医療機関を受診し、療養してください。

2. 新型インフルエンザワクチンについて

昨年から、重症化するリスクが高いと判断される方を対象に新型インフルエンザワクチンの優先接種が始まっています。平成22年1月15日には、輸入ワクチンの承認がなされ、1月16日から健康成人(大学生をふくめ、65歳未満の健康成人)全員にワクチンの接種が可能となりました。ワクチン接種により病気が重くなることを防止する効果を期待できます。一方で、少数ながら副作用が起こることもありますので、受ける場合には医師から十分な情報と説明をよく聞いておきましょう。

※重症化するリスクが高いと判断される方とは、以下のようなひとです

- 慢性呼吸器疾患(ぜんそく・慢性閉塞性肺疾患(COPD)等)
- 慢性心疾患
- 糖尿病等の代謝性疾患

- 腎機能障害
- ステロイド内服等による免疫機能不全
- 妊婦

3. 新型インフルエンザ情報

茨城大学保健管理センターのホームページに「新型インフルエンザ」のページを掲載しています。大学の対応・相談窓口、政府・茨城県の連絡文書、感染予防策のヒント、等の情報を掲載していますので御覧ください。

新型インフルエンザ発症者への本学の対応については、昨年からの変更はございません。
本 学 保 健 管 理 セ ン タ ー の ホ ー ム ペ ー ジ
(http://www.health.ibaraki.ac.jp/shingata_infuruenza.html) で、確認してください。

以 上